

私たちダイトウボウグループは、1896年2月27日に東京モスリン紡織株式会社として創立以来、明治・大正・昭和・平成・令和と5つの元号を重ね、2021年2月27日に創立満125周年を迎えます。100年を超えることちょうど四半世紀の節目でございます。

私たちダイトウボウグループが、無事に125周年目を迎えることが出来るのも、ひとえに長年ご愛顧を賜りました販売先様、仕入先様、株主様はじめ、様々な形で弊社と接点を頂いた多くのご関係者の皆様、創業以来の先輩諸兄・現役社員、そして皆様方のご家族まで、数多のステークホルダーの方々に温かく支えられてきたからこそで

ございます。ここに、心より感謝の意を表し、深謝申し上げます。

私たちダイトウボウグループは、1896年の創立以来、「進取の精神」により毛織物モスリンを国産化し初の海外輸出を成功させるなど繊維業界の雄としてスタートし、「自利利他の心」をもって世のため人のため、時代の変化に柔軟に対応しながら、広く社会に貢献し続けてきております。

現在は、全国クラスの規模を誇る静岡県東部所在の広域複合型商業施設「サントムーン柿田川」を中心とする「商業施設事業」、健康医療関連機器と高品質の寝装品などで質の高い睡眠をサポートし健康長寿社会に貢献する「ヘル

スケア事業」、創立以来の歴史を誇る伝統の「繊維・アパレル事業」の3事業を柱とする企業グループでございます。

私たちダイトウボウグループは、これからも新しい時代の先を見据えて、経営理念の「進取の精神」「自利利他の心」に基づいて発想力を活かし無限大の可能性に挑戦し、アフターコロナのニューノーマルにおきましても更なる進化を続けていく所存でございます。皆様におかれましては、これからも温かなご支援と、厳しいご指導ご鞭撻のほどを何卒よろしく申し上げます。

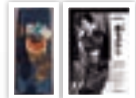


125周年誌

1896年～

日本初のモスリン製造を開始

着物など装品にモスリンが愛用された。



日本で最初の毛織会社として設立。東京に吾嬭工場を操業し和装用品モスリンの国産産体制をいち早く確立、日本を代表する企業となりました。その後も、沼津、名古屋に工場を開設し積極的な事業拡大を図りました。

1980年～

石油ショック後の不況からバブル期へ

石油ショック後の市況悪化で売上が減少する中、寝装品の製造・販売事業をスタートし業績を下支え。その後バブル期に入り、再度、売上が大幅に伸長するに至りました。



1896

1900

- 1896年2月 当社創業 東京モスリン紡織(株)設立
- 1898年 吾嬭工場操業開始

- 1918年 沼津工場操業開始
- 1923年 名古屋工場操業開始
- 1954年 鈴鹿工場操業開始
- 1964年 東京オリンピック日本選手団のユニフォーム製造に関わる

- 1965年 海外提携ブランド「Rockingham」スーツを販売
- 1970年 英国デザイナー、ハーディ・エイミスと提携し、既製服に欧州ファッションを導入
- 1976年 三井物産と折半出資で紳士服販売のロッキンガム三東(株)設立

- 1980年 寝装品の製造・販売を開始
- 1981年 三島工場の敷地の一部でサンテラス駿東をオープン 商業施設事業スタート
- 1985年 羊毛布団製造工場の新潟工場を設立



1997年 富士山を臨む「サントムーン柿田川」

- 1996年 羊毛の新防縮加工技術「EWOOL」を発表
- 1997年 複合型商業施設「サントムーン柿田川」オープン
- 2000年 中国有数の企業集団となる杉杉集団と日中合弁会社を設立 中国縫製事業に参入
- 2007年 「サントムーン柿田川」第2期開発 シネマコンプレックス棟オープン



2000年～ 繊維事業の海外進出

中国有数の企業集団である杉杉集団に技術指導をしたことを皮切りに中国に紳士服製造拠点を設立。2010年には中国現地法人を設立し、中国で繊維事業を本格的に推進する体制となりました。

2009年

- 「サントムーン柿田川」第3期開発 アネックス棟オープン
- 杉杉集団と三井不動産(株)他と合弁で、中国での商業施設開発に参画

2011年

- 「杉井アウトレット広場・寧波」を中国にオープン

2014年

- ヘルスケア事業本部を新設

2016年

- 「ダイトウボウ株式会社」に商号を変更。
- 本社を日本橋本町へ移転

2010年

- 上海大東紡織有限公司設立 アパレルOEMでの中国参入



2020年 新館「サントムーン オアシス」

- 2017年 資本業務提携の実施 事業支援等……ファーストブラザーズ(株) 商業施設事業……(株)シード
- 2019年 4月事業譲受により 和田哲カバンバー新設
- 2020年 「サントムーン柿田川」第4期開発 新館「サントムーン オアシス」オープン

1960年～

紳士既製服事業・アパレル事業への本格進出により急成長

当時最新の紳士既製服事業へ進出し、米国からの技術導入による業界最高峰の品質を誇るとともに欧米一流ブランドとの提携を進めました。さらに、婦人服アパレル事業へも参入するなどアパレル部門を柱に、高度経済成長期の追い風もあり急成長しました。



2015年～

事業構造改革を経て、新しい時代の先へ

2015年に紳士服販売事業からの撤退を柱とした繊維事業の大幅な縮小を断行しました。事業構造の改革を経て、創立120周年の節目となる2016年「ダイトウボウ株式会社」に商号を変更し、本社を日本橋本町へ移転しました。監査等委員会設置会社への移行、新グループシンボルの制定などを実施し、新しい時代の先へ歩みだし、現在に至ります。

